

社会福祉法人塩釜市社会福祉協議会
平成 29 年度 第 2 回 高齢者通所介護施設となりの家 運営推進会議
議事録

1. 日 時 平成 29 年 12 月 12 日（火曜日）
開会 午後 2 時 46 分～ 閉会 午後 3 時 6 分
2. 場 所 特別養護老人ホームこころの樹
3. 出席者 鈴木 さつよ（利用者家族代表）
佐藤 稲子（地域住民の代表者）
鈴木 智之（市役所職員）
※委員総数 5 名中 3 名出席

高齢者通所介護施設となりの家
武田理恵所長

社会福祉協議会
遠藤常務理事 曾根課長

欠席者 田中 京子（包括支援センター）

1. 開 会

2. あいさつ 遠藤常務

3. 議 事（要旨）

○ご利用者状況

- ・ 現在、要支援の利用者は無し。要介護 1～4 までの男性 4 名、女性 16 名で計 20 名の契約となっている。

- ・ 曜日によっては空きがある状況。ケアマネジャーに情報を提供している。
- ・ 64歳男性の受け入れを開始した。58歳から物忘れがひどくなり、物忘れ外来を受診。半年前にも一度見学を行ったが、時期尚早ということで見送りになった。その後、進行が早まり11月から利用、月から金曜まで連続で通所している。まだ若く、利用者というよりもボランティアとして手伝いに来ているという感覚で受け入れている。

(武田所長)

市内ではどれくらいの若年性認知症患者がいるのか？ 今後も増える可能性が高い。認知症デイも市内にとりよりの家だけだ。

(鈴木運営推進委員)

具体的数字は把握していないが、そんなに多くないと思う。

(武田所長)

日々、勉強させてもらっている感じだ。

(遠藤常務)

介護認定者の6割は認知症と言われている。3,000名超の認定者で1,600名が認知症だった。

(武田所長)

他の利用者は80代90代。その方々と同じ内容の介護サービスを提供するのもおかしい。認知症の進行を遅らせられるような内容を検討しなければならない。

(佐藤運営推進委員)

どのような認知症患者でも受け入れているのか？

(武田所長)

受け入れられる状況であれば、どんな方でも受け入れを拒んでいない。半年前に見学された時からの進行具合が著しく、徘徊が多くなっていき、何度も警察のお世話になり、家族も疲弊してしまった。包括センターからの相談があって利用開始となった。また、認知症であると独り暮らしは難しく、鈴木委員宅のように「ご家族あつての生活」になる。家族がなければ在宅サービス提供は困難だ。

(鈴木運営推進委員)

今言ったことを今忘れるから大変。

(武田所長)

鈴木委員がいないとご主人は生活ができない。

(鈴木運営推進委員)

自分がいなかったら自宅では生活ができない。

(武田所長)

となりの家からグループホームへの移行が多くなっている。あとは入院で利用中止となる場合が多い。悪化して結果的に入所となる。家族が介護疲れで施設入所となることも少なくない。今回、利用開始となった若年性認知症の方は、人間性が良い。仕事をしている感覚で他の利用者に接し、違和感なく過ごせている。

○年間計画による 12月の行事について

- ・ 10月に「地域に出かける」をテーマとして、ビック塩釜で食事と買い物を楽しんだ。家族の参加もあった。普段は自分で財布から現金を出して買い物をする機会がないので、久しぶりに体験してもらった。食事は四六時中で楽しんだ。
- ・ 12/21～22、師走の慌ただしさを感じてもらえるようヨークベニマルへ買い物に行く企画をしている。

(鈴木運営推進委員)

近所だが、主人は行ったことがない。

(武田所長)

寒いので風邪など引かぬよう安全に出かけてきたい。

(佐藤運営推進委員)

車椅子の方はいるのか？

(武田所長)

車椅子の方は少ない。そのような状態になると、体力も落ち、入院となる場合が多い。現状では1名である。

(佐藤運営推進委員)

ビック塩釜は広くて歩行が大変だったのでは？

(武田所長)

普段は歩けている方も、そのような場所は危険が伴うので、車椅子対応へ変更するケースが多い。

(鈴木運営推進委員)

家の中は歩けても外に出ると難しい。少しでも歩かせるため、家の中を往復させている。

(武田所長)

でも 94 歳にしてはしっかりしていると思う。

(鈴木運営推進委員)

となりの家から帰宅すると一合弱の晩酌をする。柔らかくしたおかずも一緒に食べる。自分は病院の厨房で勤めた経験があり、それが調理に生きていると思う。おかげさまで良い施設に通えている。一日も休んでいない。自分に用事があるときも臨時通所をお願いしている。場合によっては、隣の奥様に鍵を預け、見てもらうようお願いする。

(武田所長)

隣近所の付き合いも上手にされている印象。

(鈴木運営推進委員)

周りがいい人ばかりで助けてもらっている。

(遠藤常務)

もの盗られ妄想をする利用者はいるか？

(武田所長)

いる。まず職員が疑われる。あとはお嫁さん。物を見えるところに必ず置いておき、本人に見つけてもらうように誘導している。

4. 事務連絡

次回は 6 月頃 (日程が決まり次第、通知)

5. 閉 会